

# スマートな生き方を語る知恵の書

## 《 箴言 》 しん げん

主を恐れることは知識の初め。

箴言 1 章 7 節

福井 誠[著]

# 1 はじめに

小さな教会の一人の牧師が、毎朝早朝に教会を訪れ、執務室で聖書を読みながら、そこで教えられたことを書き記していました。牧師としての適正があるかないかと思わされる中で、8年目でしょうか、本当に困り果てて、もう一度神学校に入り、勉学をし直したことがあります。なぜあの時辞めていなかったのか、それも不思議ですが、色々と牧師に必要な学びを重ねました。なかなか納得がいかず、佛敎大学の大学院で周辺領域にも首を突っ込み、さらに海外の神学校の博士課程にも通いました。思い切り学んで、何か吹っ切れた思いがし、一つ気付きました。それは、そのような思いになったのは、学位を取るまで徹底して学んだことよりも、毎朝5時に起きて、教会へ行き、一日も休まずじっくり神と良き時を持つ習慣のためであった、と。



国際NGOの責任も持ち、海外出張の多い私は、海外でも現地時間朝5時に聖書を読むと決め、飛行機の中で読んだこともありました。それは「パスターまことの聖書通読一日一生」として、WEB上に20年以上も掲載してきたとおりです。

そのような毎日を通して、箴言が語るように「主を恐れることは知識の初め」(1:7)であり、様々な人生の落とし穴、またあるべき人の道を教えられました。この小著は、私の考えというよりも、聖書そのものが何を語っているか、そこを大事にしながら、書いたつもりです。読者の皆さんが箴言を通して、聖書の理解を深めていただければ幸いです。

玉川キリスト教会執務室にて  
福井 誠

## 2 本書の内容と読み方

この本は、「パスターまことの聖書通読ブログ一日一生」からの抜粋です。そこで私と同じように朝一番に聖書を開いた時、その内容を理解する助けとして読んでくださってもかまいませんし、お時間のある時に、ゆっくりページをめくるように読んでくださってもかまいません。どのような読み方であれ、探求する思いに、何かしらの響くものがあると信じます。

聖書は、全体を繰り返し、通して読むことにより、自ずと氷解するように見えてくる部分もございます。そのような意味では、次のサイトで、ぜひ、一緒に、聖書を読み、また、通読ブログについて、あれこれ忌憚なく語り合う、バイブルトーカーズの会などもご利用いただければと思います。なお表記上のことですが、(1:7)等の表示は、1章7節を表しています。

### ○パスターまことの聖書通読ブログ⇒

<http://thousandtimesbless.com/>

毎朝更新されます。毎日一日一章、聖書全巻を3年ちよつとで読み終える、通読ブログサイトです。現在第5サイクル目で、一日も休まず、約20年以上続けてきました。



### ○音声のみで聖書通読ブログを進めたい方向け⇒

聖書通読ブログ音声版 (Stand FM)。Stand FMのアプリをインストールする必要があります。



### ○聖書通読ブログ (音声+動画版 Youtube) ⇒

お馴染みの Youtube で聖書通読。簡単な要約付きです。



# 目次

はじめに.....	2
本書の内容と読み方.....	3
目次.....	4-5
1章 知恵の初め.....	6
2章 知恵を深め主を恐れる.....	8
3章 知恵は繁栄をもたらす.....	10
4章 神の知恵を身に付ける.....	13
5章 愛すべきものを愛せ.....	16
6章 主の憎むもの.....	19
7章 知恵を受肉させる.....	22
8章 知恵を求めよ.....	25
9章 二つの宴会、二つの対象.....	28
10章 知恵ある者と愚かな者.....	31
11章 神の御前にあることを覚えて生きる.....	34
12章 建て上げる人生にする.....	37
13章 知恵ある者となる.....	40
14章 神との関係を大事にせよ.....	43
15章 神を恐れることから始める.....	45
16章 神の歴史.....	48
17章 家庭の恵みと祝福.....	51
18章 人を破滅させるもの.....	54
19章 貧しくても誠実に歩む者の幸い.....	58
20章 物事をよく理解する.....	61
21章 主の知恵に生きる.....	64
22章 心ある人、ルールを弁える人.....	67

23章	求めてもしょうがないもの、求めるべきもの	70
24章	生き方において袂を分かつて	73
25章	忍耐と自制	76
26章	愚かな者と怠け者、困った人たち	79
27章	身近なものを大事にする	82
28章	正しい歩みを心がける	85
29章	主のことばがなければ	88
30章	人生謙虚に歩むのが一番	91
31章	しっかりとした女性	94
	おわりに	97

# 1章 知恵の初め

歳を取れば取るほどに、思わされることは、物事の本質を考えると、何が正しいかを考えることです。目先の損得に振り回されない、しっかりとした生き方をするためにも、知恵の書と呼ばれる箴言（しんげん）から、しばらく教えられてまいりましょう。

## 1. 箴言の特徴とその目的

まず表題ですが、「イスラエルの王、ダビデの子ソロモンの箴言」とあります。ただ30章には「マサの人ヤケの子アグルのことば」（1節）、31章には「マサの王レムエルが母から受けた戒めのことば」（1節）とあるように、すべてがソロモンの箴言というわけではありません。それでも箴言の大部分は、東方随一（ずいいち）の知恵者と言われたソロモンによるものですから、ソロモンの格言集と言われるのです。

さて1章の前半には、箴言が書かれた目的が、三つ語られています。第一に「知恵と訓戒を知り」とあります。人生において何が正しく、何が間違っているかを知り、適切な身の処し方を学び、その習慣を形作るために読みます。第二に「悟りのことばを理解するため」つまり、物事の本質を見抜き、考える力を養うためです。そして最後に「義とさばきと公正」を得るため、つまり人それぞれが考える正しさではなく、公の正しさを知るために読むのです。

実際、この書を書いたソロモンは、一国の王様で、何が社会と国